

2 本郷台駅周辺地区の現状と課題

(1) 駅前広場と公園

現 状

- ・本郷台駅前広場は、昭和48年に根岸線の全線開通と合わせて築造され、昭和56年に現在の姿となりました。面積は約6,700m²と、乗降客数(約19,000人)から比較すると、大きな空間となっています。
 - ・駅前広場には、交通施設としてバス(3バース)、タクシー(5台)、乗用車(7台)の乗降レーンを有するターミナルや、自転車駐車場(約2,500台)が整備されています。現状では、比較的円滑に利用されており、容量的には確保されていると言えます。
 - ・改札口とUR団地内中央通路をつなぐ空間(約1,000m²)は、自由なオープンスペースであり、最近は、土休日を中心にイベント会場として活用されています。(表2、図7参照)
しかし、イベント以外の時は歩行者も少なく閑散とした印象があります。
 - ・駅前公園(面積約2,000m²、街区公園)は、駅前という立地にも関わらず、利用者も少なく、賑わいが乏しい状況です。これは、公園と駅前広場との一体性がないこと、商店街や駅前街路との連続性がないこと、樹木の繁みによる暗い空間などが要因として考えられます。
 - ・駅前広場は、花崗岩の石畳であり、最近では珍しいヨーロッパの広場に見られるような重厚なイメージです。
- 一方、現段階では、駅への通行機能としての歩行者動線が主であり、例えば、たたずむ、滞留するといった使われ方はほとんどありません。

課 題

- ・駅前広場と駅前公園の賑わいづくりとソフトのしあげ
- ・人々のたたずむ・交わる・滞留を促すハードの工夫
- ・駅前広場と駅前公園の一体的利用

◇◇ 表2 「平成26年の本郷台駅周辺での主なイベント」

| 開催月 | イベント内容 | 開催日 | 開催者 | 来客者数 |
|--------|-----------------|----------|-----------------|---------|
| 1～3月 | SAKAEヤングフェスティバル | 3月22日 | 青少年指導員協議会・子ども会 | 10,000人 |
| | 中学校駅伝大会 | 3月22日 | スポーツ推進委員連絡協議会など | 2,000人 |
| 4～6月 | あーすフェスタかながわ | 5月17、18日 | 神奈川県・青年海外協力協会 | 1,500人 |
| 7～9月 | アオソラマルシェ | 7月19日 | 全国農業協同組合・各種団体 | 3,000人 |
| | はたらくくるま大集合 | 7月21日 | 交通安全運転管理者会など | 800人 |
| | さかえオープンカフェ | 9月27日 | 栄区商店街連合会など | 5,000人 |
| 10～12月 | キャンドルナイト | 11月8日 | キャンドルナイト実行委員会 | 3,000人 |
| | ほっとイルミネーション | 12月1日点灯 | 栄区商店街連合会など | 600人 |

◇◇ 図7 イベントの様子



SAKAEヤングフェスティバル



中学校駅伝



あーすフェスタかながわ



アオソラマルシェ



はたらくくるま大集合



さかえオープンカフェ



キャンドルナイト



ほっとイルミネーション

(2) 交通アクセス

現 状

- ・本郷台駅の利用者は、周辺駅と比較するとバス利用が少なく、結果として徒歩・自転車の割合が高い(駅勢圏が狭い)という特色があります。(表3参照)。
これは、本郷台駅へのバス利便性が低く、他駅の利用へ転じてしまっていることが考えられます。
- ・本郷台駅からのバス路線網としては、鎌倉駅、戸塚駅、上大岡駅、飯島団地、公田団地、小菅ヶ谷北公園へのルートがありますが、区内でも人口が多い、桂台、庄戸地区や豊田地区へのアクセスはありません。
- ・本郷台駅周辺の道路整備については、桂町戸塚遠藤線を軸として、それにつながる環状3号線、4号線、上郷公田線が計画されていますが、いずれも未整備部分があり、ネットワークの形成には至っていません。特に、上郷公田線の整備は、桂町戸塚遠藤線とつながり、桂台、庄戸地区などから本郷台駅への利便性向上に貢献します。
- ・横浜環状南線(首都圏中央連絡自動車道)の公田インターチェンジが、近隣に計画されており、今後は、鉄道駅と高速道路利用の連携なども考えられます。

課 題

- ・上郷公田線などの道路整備による駅へのアクセスの強化
- ・本郷台駅を中心としたバス路線網の充実、特に、桂台・庄戸・豊田地区との連絡

◇◇表3 駅利用分担率

| 駅名 | 乗降客数 (一日あたり) | 分担率 | | | |
|-----|-----------------|-----|-----|-----|-----|
| | | バス | 乗用車 | 自転車 | 徒歩 |
| 本郷台 | 19,278人 | 6% | 4% | 13% | 76% |
| 大船 | 97,118人 | 26% | 4% | 9% | 58% |
| 港南台 | 33,377人 | 17% | 5% | 6% | 70% |
| 戸塚 | 109,988人 | 32% | 2% | 9% | 54% |

出典：JR東日本データ「各駅の乗車人員2013年度」
第5回東京都市圏パーソントリップ調査

(3) 駅周辺への集積

現 状

- ・本郷台駅周辺には、市営住宅とUR団地の1階に商店が集積しており、スーパーも2店あります。集積規模は決して大きくはなく、日用品などの生活必需品を扱う住宅地型の商業と言えます。
- 一方、最近は、区内在住者の運営によるジャズバーやイタリアンなど若者向けの瀟洒な店舗が立地しています。
- ・大船、戸塚、港南台など近隣駅周辺には、大規模商業施設等が立地しています。買回り品等の購入は、近隣駅へ向かうケースが多いです。
- ・駅周辺は、第二次世界大戦後に米軍接収されていた経過から、公有地が多く、公共的施設が多く立地しています。
- 駅に近接して、文化施設としてあーすぶらざ(区民文化センター含む)、ぶらっと栄(区民活動センター)、福祉施設として保育園、また、身近な徒歩圏域には、柏陽高校、区役所、公会堂、警察学校などが立地しています。(表4参照)
- ・駅に近接して市営住宅(1棟 240世帯)、UR団地(4棟 720世帯)があります。また、いたち川沿いに南小菅ヶ谷国家公務員住宅(国有地)があり、民間企業への売却処分が予定されています。

課 題

- ・近隣駅周辺と異なった本郷台らしい魅力づくり
- ・現在の最寄品を中心とした商業立地から、顧客範囲の拡大につながる集積
- ・文化・アートなど既存施設の活性化
- ・国有地の計画的な誘導

◇◇表4 駅周辺の施設立地の状況

| | |
|-----------|--|
| 行政施設 | 栄区役所、栄土木事務所、栄消防署 栄警察署、法務局栄出張所 |
| 教育施設 | 本郷中学校、県立柏陽高校 栄図書館 |
| 医療・福祉施設 | 栄共済病院 小菅ヶ谷地域ケアプラザ、保育所 |
| 文化・市民活動施設 | あーすぶらざ、栄区民文化センターりりス 栄公会堂、栄スポーツセンター、本郷地区センター ぶらっと栄(さかえ区民活動センター) |

(4) 高齢化

現 状

- ・駅周辺の集合住宅、近隣の住宅地では高齢化が進んでいます。居住形態は、一人住まい（独居）、老夫婦のみの世帯などが増えており、今後、この傾向は続いていくと考えられます。一方、多くの高齢者は、元気で社会活動に積極的に関わっています。駅前という都市的空間ですが、つながりのある地域コミュニティが形成されています。
- ・駅周辺は、通勤途中の保育所など、子育て支援施設のニーズが高くなっています。本郷台も同様であり、あわせて、国有地の活用において、新規居住者のためにも、保育資源の確保は必要になります。
- ・高齢者や障害者の暮らしやすさや子育てのしやすさとして、外部空間への誘導（室内にこもらず、外へ出ていきたくなるようなしきけ）、さらに、積極的な交流を誘導するようなしきけが有効です。

課 題

- ・コミュニティに支えられた誰もが居心地の良く、交流のある外部空間の形成
- ・保育施設、高齢者の生活サポート施設の充実

(5) 豊かな水と緑

現 状

- ・本郷台駅に近接していたち川があります。いたち川は、流域が自然に恵まれた、すなわち浸透性の高い土地利用のエリアが多いため、水量が多く、水鳥・魚類など多くの生物が生息しています。また、両側には遊歩道が整備されており、本郷台からいたち川遊歩道を通り、自然観察の森、鎌倉方面などへもアクセスできます。
昨今のウォーキングブームから、本郷台からのウォーキングも増えています。
- ・駅周辺には、整備当初に植樹された街路樹（イチョウ）やオープンスペースに植えられた樹木（ケヤキ）などがあり、多くが大木に生育しています。
一方、老朽化している樹木などもあり、緑空間づくりとして再生が必要になっています。
- ・駅前広場には、ワシントン・ポトマック河畔の里帰り桜の植樹コーナーや、駅前通りでの区民参加による花植えなどが行われています。
しかし、広場や公園全体としての区民参加による維持活動などには至っていません。
また、いたち川が近接にありますが、いたち川の自然の豊かさを身近に感じられるような環境ネットワークは形成されていません。

課 題

- ・本郷台を起点としたいたち川遊歩道ウォーキングの広がり
- ・いたち川と駅前広場をつなぐ軸の形成や、緑空間の拠点とネットワークづくり
- ・駅前広場や公園の緑再生
- ・区民参加による緑の維持保全活動の広がり

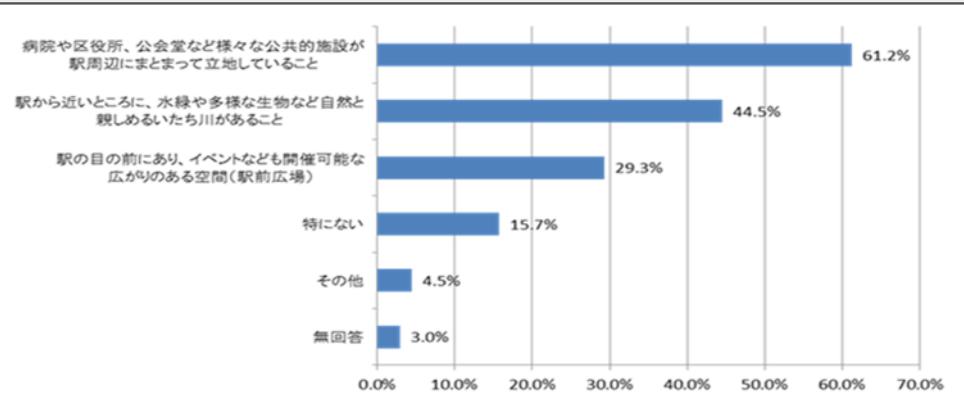
(6) 区民の期待

現 状

- ・区民アンケートによると、駅周辺地区の魅力として、様々な公共的施設が立地していること、自然と親しめるいたち川が近隣にあること、イベントなども開催可能な広がりのある空間が駅前にあることが挙げられています。(図8参照)
- ・また、駅前活性化に向けて、買い物環境やカフェ等の充実、道路交通環境の整備、交通結節点としての機能強化などが求められています。(図9参照)

◇◇図8 平成23年度区民アンケート

栄区では、区心部である本郷台駅周辺地区を、活力ある元気なまちにしていくことで区全体の活力向上を目指しています。あなたが現在の本郷台駅周辺地区において、ここが魅力だと思うものに○をつけてください。(○はいくつでも)(n=861)



◇◇図9 平成25年度区民アンケート

栄区では、本郷台駅を区の玄関として活力ある場所としていくため、にぎわいづくりを進めています。そのために、特に力を入れた方がいいと思う項目は何ですか。(○は3つまで)(n=763)

